

翔

2010 Jun No.204
百万石蝶談会



石川県輪島市での2009年の蝶の採集・観察記録から

日吉 芳朗

2008年の輪島市の天候は、蝶の生育に好ましいものではなかったのではないかと報告したが（日吉、2009）、2009年もまた前年を追従した感が強く、蝶の発生状況は前年を下まわったような印象をもった。

新潟地方気象台の発表による北陸地方の気象状況は、3～5月の気温は変動が大きかったものの高めで推移し、降水量は少なく、6～8月は気温、降水量ともに平年並みであったが、日照時間は少なかった。9～11月の気温は高く降水量は少なかったことから、日照時間はかなり多かった。このようなことから、気温、降水量、日照時間などに季節としてのバランスを欠いていたようにもみえる。

報告データは、目撃が含まれるものは「目撃」「採集」を表記し、採集だけのものは「採集」表記をしなかった。また、採集後に放蝶したものは「目撃」とした。

■アサギマダラ

5月19日、袖ヶ浜に咲くスナビキソウで吸蜜している個体を捕虫・マークしたのが始まりであったが、その後、23日に6頭にマークしただけで途絶えていた。しかし、6月3日から再び姿をあらわしたものの、1日数頭と数は少なく、6月10日と11日の両日でそれぞれ30頭に達したが、16日の2頭をもって姿を消した。また12日には三ツ子浜でも少数ながらマークできたが、その後、姿を見ることがなかった。本年のマーク総数は135頭で、これらは例年になく破損が目立ち、再捕獲されたものはなかった。

6月11日には、袖ヶ浜でスナビキソウで吸蜜する1♀を目撃し、9月20日には、三井町与呂見坂田で、高所を飛翔する1頭を目撃した。

2009年 5月19日	輪島市袖ヶ浜	2♂目撃	日吉芳朗
2009年 5月23日	輪島市袖ヶ浜	6♂目撃	日吉芳朗
2009年 6月 3日	輪島市袖ヶ浜	15♂目撃	日吉芳朗
2009年 6月10日	輪島市袖ヶ浜	36♂目撃	日吉芳朗
2009年 6月11日	輪島市袖ヶ浜	33♂1♀目撃	日吉芳朗
2009年 6月12日	輪島市三ツ子浜	8♂目撃	日吉芳朗
2009年 6月16日	輪島市袖ヶ浜	2♂目撃	日吉芳朗
2009年 9月20日	輪島市三井町与呂見坂田	1頭目撃	日吉芳朗

■コムラサキ（黒色型）

中段町、久手川町、三蛇山、鉢伏山などかつての棲息地で、1頭も姿を見ることができなかった。土木工事のために産地の消滅が懸念されていたとはいえ、現実となると無念さにさいなまれる。

■ツマグロヒョウモン

1998年の秋、気勝山で多数発生し、その後、高洲山、宝立山などで採集されるようになった本種も、近年にはほとんどその姿を見ることがなくなった。2009年も、8月下旬に高洲山頂上で2頭を採集したのみで、他に目撃することもなかった。

2009年8月24日 輪島市高洲山 1♂ 日吉芳朗

2009年8月25日 輪島市高洲山 1♂ 日吉芳朗

8月24日の個体は、破損がないもののスレが目立ち、25日の個体は4翅とも破損していた。

■ウスバシロチョウ

2009年は5月18日にその姿をあらわし（前年は5月17日）、発生地点は例年と変わらなかったものの、その数は少なかった。

2009年5月14日 輪島市上山町 1♂採集 1頭目撃 日吉芳朗

2009年5月18日 輪島市別所谷町大久保 2♂ 日吉芳朗

2009年5月18日 輪島市滝又町 4♂ 日吉芳朗

2009年5月18日 輪島市門前町西円山 1♀ 日吉芳朗

2009年5月18日 輪島市門前町滝又 4♂ 2♀ 日吉芳朗

2009年5月18日 輪島市上黒川町 1♀ 日吉芳朗

■オオヒカゲ

2008年の報告（日吉、2009）で、輪島市でオオヒカゲを見るのは容易でないことを記したが、2009年は、7月16日に三蛇山のミズバショウ群生地で新鮮な2♂を採集したことに始まり、その後、数頭を採集することができた。しかし、この地は近年ミズバショウ見物者のためにつくられた周遊道路や東屋などのため、状況は大きく変わりつつある。なお、市内の他所において、その姿を目撃することもできなかった。

2009年7月16日 輪島市三蛇山 2♂ 日吉芳朗

2009年7月20日 輪島市三蛇山 1♀採集 1頭目撃 日吉芳朗

2009年7月24日 輪島市三蛇山 3♀ 日吉芳朗

2009年8月25日 輪島市三蛇山 1♀ 日吉芳朗

2009年8月26日 輪島市三蛇山 1頭目撃 日吉芳朗

■トラフシジミ、コツバメ、ミヤマセセリ、ツマキチョウ、サカハチチョウ

春に現れるこれらの蝶も、近年、その数を減らしているようで、コツバメはついに目撃することもできなかった。

トラフシジミ

2009年4月28日 輪島市門前町西円山 2♂ 日吉芳朗

ミヤマセセリ

2009年4月20日	輪島市三蛇山	1 ♀	日吉芳朗
2009年5月1日	輪島市八幡山	2 ♀	日吉芳朗
2009年5月11日	輪島市房田町	1 ♂	日吉芳朗
2009年5月14日	輪島市三蛇山	1 ♂	日吉芳朗

ツマキチョウ

2009年4月29日	輪島市深見町一乗	1 ♂	日吉芳朗
2009年4月29日	輪島市門前町西円山	1 ♂ 1 ♀	日吉芳朗

サカハチチョウ

2009年5月11日	輪島市深見町一乗	3 ♂	日吉芳朗
------------	----------	-----	------

■その他

輪島市では個体数が少ないと考えられるゴイシシジミ、ウラナミシジミ、ホソバセセリ、ウラギンシジミを少数ながら採集できたが、ゼフィルス類は、1頭も目撃することさえできなかった。

ゴイシシジミ

2009年6月5日	輪島市三井町与呂見坂田	1 ♀	日吉芳朗
2009年7月24日	輪島市三蛇山	1 ♂	日吉芳朗
2009年8月18日	輪島市鉢伏山	1 ♂	日吉芳朗
2009年8月19日	輪島市三蛇山	1 ♀	日吉芳朗
2009年9月5日	輪島市三蛇山	1 ♀	日吉芳朗
2009年9月21日	輪島市三蛇山	2 ♀	日吉南賀子
2009年9月25日	輪島市高洲山	1 ♀	日吉芳朗

ウラナミシジミ

2009年10月30日	輪島市三井町与呂見坂田	1 ♂	日吉芳朗
-------------	-------------	-----	------

ホソバセセリ

2009年7月16日	輪島市三蛇山	1 ♀	日吉芳朗
------------	--------	-----	------

ウラギンシジミ

2009年7月30日	輪島市袖ヶ浜	1 ♂	日吉芳朗
------------	--------	-----	------

《参考文献》

日吉芳朗 (2009) 石川県輪島市とその周辺での2008年の蝶の採集・観察記録から. 翔(200):9-11.

《ひよし よしろう 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》

アカエゾゼミ調査とセミの隔年発生

松井 正人

石川県には、エゾゼミ、コエゾゼミ、アカエゾゼミと3種のエゾゼミ類が分布しているが、コエゾゼミとアカエゾゼミの記録は少なく、アカエゾゼミの採集記録は、わずかに1♂1♀しかない。

アカエゾゼミは、1980年に1♀が採集された(武藤、1980)以降、長期間に渡って観察されていなかったが、2007年に1♂が採集され(富沢、2007)、抜殻や成虫の目撃、鳴声が報告された(武藤、2007)。そこで、2008年と2009年にアカエゾゼミを捜す目的でエゾゼミ類の抜殻調査と鳴声調査を行った。ところが、2007年には金沢市医王山蛇尾山で簡単に観察できたエゾゼミ、コエゾゼミの抜け殻が、2008年は全く観察できず、2009年はわずかに観察できた程度だった。また、2007年には複数頭のアカエゾゼミが目撃され鳴声が聞かれた白山市白峰三ツ谷へ、2009年は8月に6回の調査を行ったが、エゾゼミ類は目撃どころか、遠くで鳴いている声が3度聞こえた程度だった。

沼田・初宿(2007)によると、セミの発生は、西暦で奇数年は多くなり偶数年は少なく、4年に1度は特に多くなり8年に1度は大発生する波があり、毎年セミの抜殻調査の結果から1995年、2003年が大発生した年で、次の大発生の年は2011年と予想している。

表-1. 偶数年ごとに増減するセミの発生量「沼田・初宿(2007)から作成」

西 暦	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
発生量	大発生	少ない	多い	少ない	特に多い	少ない	多い	少ない
西 暦	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
発生量	大発生	少ない	多い	少ない	特に多い	少ない	多い	少ない
西 暦	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
発生量	大発生	少ない	多い	少ない	特に多い	少ない	多い	少ない

表-1から、2007年は「特に多い年」、2008年は「少ない年」、2009年は「多い年」だったようで、石川県のアカエゾゼミは、「特に多い年」に観察され、「多い年」では観察できなかったようである。2011年は、「特に多い年」よりも多い「大発生する年」なので、この年に狙いを定め十分な準備をして調査に臨みたい。

《 参考文献 》

沼田英治、初宿成彦(2007) 都会にすむセミたち. 162pp. 海遊舎.

武藤 明(1980) 白山山麓採集行. とっくりばち(45):6-7.

武藤 明(2007) 三ツ谷(旧白峰村)でアカエゾゼミを再確認. とっくりばち(75):54.

富沢 章(2007) 灯火に飛来したアカエゾゼミ. とっくりばち(75):54.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

能登半島のゼフィルス観察史

松井正人

日本海に大きく突き出た能登半島は、石川県の一部で、ここでは能登半島を、口能登（宝達志水町、羽咋市）、中能登（志賀町、中能登町、七尾市）、奥能登（穴水町、能登町、輪島市、珠洲市）の3つの地域に分けて、ゼフィルス観察記録を紹介する。

この地域は、愛好家が少ないことや、白山の様な魅力的な観察地が無く昆虫相は貧弱とされていたために訪れる観察者が多くなかった事もあり、昆虫の情報は極めて少ない。このような中であって、これまでに11種のゼフィルスが観察されており、これらについて観察記録の古いものから順番に紹介する。文献で扱われている報告時の市町村名は、市町村合併後の現在の名前で紹介する。

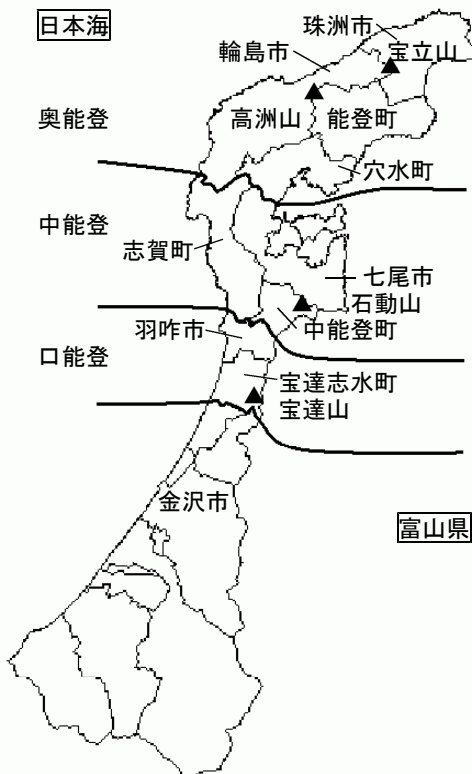


図-1. 能登半島区分図

■初観察は1945年のオオミドリシジミ

能登半島で観察されたゼフィルスで、記録に残されている最も古いものは、1945年に林慶氏が奥能登の能登町宇出津で観察されたオオミドリシジミ（武藤、1958）かと思われる。それに次ぐ記録は、1951年に浅見行一氏が輪島市高洲山で採集されたオオミドリシジミ（浅見・的場、1952a）（日吉、1971）と思われる。

また、観察時期は明確では無いが、小倉（1959）には1955年頃に口能登の宝達志水町宝達山で観察されたオオミドリシジミが報告されている。

■1960年代にミドリシジミ

オオミドリシジミに次ぐゼフィルスの記録は、1964年に尾田良知氏が中能登の中能登町石動山で採集されたミドリシジミであろう（尾田、1964）。浅見・的場（1952b）や小坂（1952）には、輪島市高洲山のミドリシジミが報じられているが、浅見・的場（1952a）や日吉（1971）から、これはオオミドリシジミをミドリシジミとして報じたものと思われる。

これから1年遅れた1965年に、宝達山で観察されたミドリシジミが、砂山（1975）に報告されている。

■1970年代に2種追加

1970年になると、石川県内で休眠芽に産まれた越冬卵の調査（採卵調査）が行われるようになり、1971年には時国健太郎氏によって奥能登の輪島市町野のコナラ、ミズナラから採卵され飼育羽化したアカシジミが報告され（時国、1972）、これが第3のゼフィルスと思われる。

また、能登半島一の高峰、宝達山の開発に危機を抱いた嵯峨井淳郎氏による調査が、1971年から1978年にかけて行われ、この報告（嵯峨井、1979）に、第4のゼフィルスとなる1974年に採集されたミズイロオナガシジミと、口能登では初記録となる1974年に観察されたアカシジミが掲載されている。

■1980年代も2種追加

1980年代に入ると、石川県各地で採卵調査が盛んに行われるようになり、宝達山からは、1984年に5種目のアイノミドリシジミ（松井、1985a）と6種目のエゾミドリシジミ（松井、1985a）が報告され、奥能登の輪島市宝立山からも1984年にエゾミドリシジミ（中西、1984）が報告された。

また、この時期になってようやく奥能登から1984年にミズイロオナガシジミとミドリシジミ（松井、1985b）、中能登から1989年にミズイロオナガシジミ（松井、1991）が初報告されている。

7種目になると思われたジョウザンミドリシジミは、1982年の宝達山（松井、1983）や1984年の宝立山（中西、1984）（松井、1985b）から採卵報告がなされているが、報告後に幼虫での確認が必要とされ、飼育の結果待ちとなったようだが、飼育後の報告はなされていない。

■1997年以降に5種追加

1984年までに観察された6種以降、能登半島から新しく観察されたゼフィルスの報告が無いまま10年以上が過ぎていたが、1997年になって日吉芳朗氏が奥能登の輪島市でウラキンシジミを採集され（日吉、1997）、7種目となった。

また、長らく疑問視されていたジョウザンミドリシジミは、1997年に宝達山で採卵されたものが飼育によって確認される（松井、1998）とともに、1998年には奥能登の宝立山でも採集され（松井、1998）、8種目となった。

2000年になると、三上秀彦氏は口能登の宝達山から9種目のウラクロシジミ（三上、2000）、10種目のウラムスジシジミ（三上、2000）、更に2001年には11種目のウラナミアカシジミ

(三上、2001) を記録された。

また、2001年には中能登町各地でアカシジミが観察され（松井、2001）、2008年にはこれまでに宝達山で1♂しか観察されていなかったウラナミアカシジミが志賀町で観察され（浅地、2008）、輪島市で2頭しか観察されていなかったウラキンシジミが宝達山で観察された（中西、2009）。

表-1. 能登半島で観察されたゼフィルスと初観察年

報告順位	種名	口能登	中能登	奥能登
1	オオミドリシジミ	1955年頃		1945年
2	ミドリシジミ	1965年	1964年	1984年
3	アカシジミ	1974年	2001年	1971年
4	ミズイロオナガシジミ	1974年	1989年	1984年
5	エゾミドリシジミ	1984年		1984年
6	アイノミドリシジミ	1984年		
7	ウラキンシジミ	2008年		1997年
8	ジョウザンミドリシジミ	1997年		1998年
9	ウラクロシジミ	2000年		
10	ウラミスジシジミ	2000年		
11	ウラナミアカシジミ	2001年	2008年	

※空白欄は未報告

2009年までに能登半島から報告されたゼフィルスは11種であるが、ウラゴマダラシジミが見付かっていないのが不思議でならない。また、ウラナミアカシジミやウラミスジシジミ、ウラクロシジミが奥能登にかけて見付かるのも遠い日とは思えない。口能登に宝達山、中能登に石動山、奥能登に高洲山や宝立山などの有望な観察地もあり、次に観察史に付け加えられるゼフィルスが何になるのか楽しみに待ちたい。

《 参考文献 》

- 浅地哲也（2008）石川県志賀町でウラナミアカシジミを採集. 翔(194):1.
 浅見行一・的場和雄（1952a）石川県旧鳳至郡の蝶類について. pp14. 輪島高等学校.
 浅見行一・的場和雄（1952b）能登半島北部の蝶類. 石川県生物学会会誌 2(1):55-56.
 日吉芳朗（1971）オオミドリシジミの思い出. とっくりばち(19・20):5.
 日吉芳朗（1997）輪島市での近年の蝶採集記録から. アカハネムシ(25):1-3.
 小坂 巖（1952）石川県の蝶相について（予報）. 石川県生物学会会誌 2(1):4-9.
 松井正人（1983）宝達山採卵行. 翔(36):2.
 松井正人（1985a）あわれなミズナラ君その後. 翔(50):18-19.
 松井正人（1985b）採卵記録票. 翔(51):10.

- 松井正人 (1991) 石川県に於けるゼフィルスの分布 2. 翔(89):5-10.
 松井正人 (1998) 能登地方でジョウザンミドリシジミを採集. 翔(135):5-6.
 松井正人 (2001) 石川県の低地および能登丘陵周辺のゼフィルス. 翔(153):1-2.
 三上秀彦 (2000) 押水町宝達山で採集したミドリシジミ類. 翔(145):1.
 三上秀彦 (2001) 口能登でウラナミアカシジミを採集. とっくりばち(67):24.
 中西元男 (2009) 石川県宝達山のウラキンシジミ. ひゃくとりむし(305):7.
 中西重雄 (1984) 採卵記録票 (1-19). 翔(48):11.
 尾田良知 (1964) 石動山地方の蝶. 謄写版.
 小倉和彦 (1959) 能登半島中部の蝶相. とっくりばち(7):8-10.
 嵯峨井淳郎 (1979) 宝達山と周辺の蝶類について. 翔(4):3-5.
 砂山 博 (1975) 羽咋地方のチョウの目録. とっくりばち(30・31):1-3.
 武藤 明 (1958) 石川県の蝶. とっくりばち(6):2-17.
 時国健太郎 (1972) 蝶の新産地. とっくりばち(22・23):4.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

シラキトビナナフシとニホントビナナフシの孵化期について

松 井 正 人

2008年に、シラキトビナナフシとニホントビナナフシの卵が得られたので、2種を同一の条件で越冬させ孵化させたところ、種によって孵化期が大きく違っていたので報告する。

ナナフシ2種の卵は、適度な湿度を保つ為に常緑広葉樹の葉とともに密閉容器に入れ、加温しない室内で越冬させた。常緑広葉樹の葉は、1週間程度で新しいものと交換し、越冬後も同様の状態で孵化を待ち、観察は7月4日まで行った。

シラキトビナナフシは、4月11日～4月24日にかけて167卵中105卵が孵化し、ニホントビナナフシは、5月13日～6月8日にかけて51卵中5卵が孵化した。

ナナフシ類の孵化期と孵化率(2009年)

	4月	5月	6月	7月	卵数	孵化数	孵化率
シラキトビナナフシ	■■■■				167	105	63%
ニホントビナナフシ		■■■■	■■■■		51	5	10%

※ シラキトビナナフシ:石川県白山市中宮産、ニホントビナナフシ:石川県珠洲市唐笠産

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

会員の動き・しゃばの動き

■ピカピカのギフチョウ

4月に入って強い寒気が流れ込み、下旬になっても霜が降るようなお天気。桜は散ったが、続く花々の開花は遅れ気味で、ギフチョウは3月14日に初観察されているが、いまだにピカピカの個体が飛んでいる。

■アサギマダラは大空の郵便屋さん

4月19日、喜界島の福島氏から、今年になって3324頭に標識したと手紙が届いた。今年の喜界島はアサギマダラが例年より多いそうで、初夏にはアサギマダラが大空を舞って手紙を届けてくれそうだ。

■ムシパン

蒸しパンではなく虫パン。あの手この手で知名度の強化を探る昆虫館の次なる手は、限定販売の虫パン。いもむし入りのキャンディーもあり、恐いもの見たさも手伝って覗いてみると、やはり「いもむしパン」。ニヤリとしたが、虫は入ってなくて緑色のパンだった。

■クビキリギスのけだるい声

ゴールデンウィークの頃、辺りが暗くなると聞こえ出すジーと長くひっぱる声。水田に水が入り集落が水に浮かんだ島のような頃は、畑仕事でクタクタとなり、重くなった体に、この声が追い打ちをかける。5月3日に鳴き出した。

■菅笠のすすめ

5月の紫外線は強烈と聞いていたが、体験することで納得した。気温は高くないので気にしていなかったが、Tシャツで半日虫を見ていたら腕と首筋に痛みを覚え、首

筋が特に痛い。25年前に金子氏が菅笠を翔に紹介していたのを思い出した。つばが広くて首筋を守ってくれそうだ。

■山側環状道路の御利益

採集地への行き帰りは、いかに早く市街地を通り抜けるかにかかり、混雑前に出かけても帰路が混雑すると、その方面への足は遠のいてしまう。金沢市内を約15分で通り抜ける山側環状道路ができたことで、悩みは一掃され、能登ばかりに出かけていたが、最近では白山方面の観察も戻りつつある。

■宝達山観光マップにアサギマダラ

宝達志水町がリニューアルした宝達山の観光マップにアサギマダラが掲載された。宝達山は、旅の重要な中継地点で、9月には数百の群れ飛ぶ姿が観察できるとあり、役場からも重要な観光資源と認知された。

■今年も戸台だ

ツジヒゲナガコバネにぞっこんの井村会長、惣名氏と連れだって今年も戸台に出かけた。右も左も「採れない採れない」と嘆く声が聞こえる中、「これじゃないの」とばかりに採集し、注目を集める。

■シルビア探しは子供の眼で

志賀町で再発見されたシルビアシジミ。いつ頃から発生するか分かってないが、待ちきれない会員は5月の連休から動き出した。狙いは、潮をかぶるようなミヤコグサ。5月中旬からは、海岸アサギ大作戦も始まり、各地の海岸に子供達も入る。「シルビア探し」のおふれを出すと、目ざとい子供達が、見つけてくれるかもしれない。

■ビオトープ

開発などによって環境が失われた場所にビオトープと称し貧弱な生物の生息・生育空間が都市の空地や、校庭などに整備されることが多くなった。しかし、手取川や犀川の河川敷では、相変わらず樹木が伐採され、優れたビオトープが消滅している。

■金沢で全国野鳥保護のつどい

5月16日「全国野鳥保護のつどい」が金沢市で開催された。大串先生が野生生物保護の推進に大いに貢献したとして常陸宮さまから表彰状をいただいたほか、矢田氏は環境大臣賞、高羽氏は環境省自然環境局長賞を受賞した。「野鳥保護のつどい」で、昆虫関係者も受賞する世となった。

■ 例 会 の 記 録 ■

4月8日(木)浅地メッキ2階にて、午後8時から開催。

昨年、能登で採集されたシルビアの発生地予想を松井氏が紹介。志賀町地内、潮が被るような海岸線付近、ミヤコグサの生育

地、車道からの距離、等から可能性の高い場所が説明された。

その他の話題は、3月のギフチョウは少なかった、ウラナミシジミが越冬か、長野県のナガサキアゲハ、落葉していた大東島のクヌギ、ホテルの前でハマヤマト、敦賀のカマキリは外来種か、などなど。

参加は、井村、富沢、福富、大宮、浅地、細沼、浅野、長田、竹谷、松井の10人。

■ 例 会 の 記 録 ■

5月13日(木)浅地メッキ2階にて、午後8時から開催。

話題はシルビアシジミ。調査が進んでいるようで、最新の現地情報が飛び交った。

その他の話題は、飼育幼虫にウィルス発生、ウラナミシジミは越冬できなかった、飼育用のインゲンを栽培、汽水域のタイコウチ、季節は1週間遅れ、などなど。

参加は、井村、松井、大宮、浅地、浅野、細沼の6人。

■ ■ 表紙デザイン：小幡英典 ■ ■

目 次

日吉芳朗：石川県輪島市での2009年の蝶の採集・観察記録から	1
松井正人：アカエゾゼミ調査とセミの隔年発生	4
松井正人：能登半島のゼフィルス観察史	5
松井正人：シラキトビナナフシとニホントビナナフシの孵化期について	8
編集部：会員の動き・しゃばの動き	9

翔

204号

Tobu 2010年6月10日発行
百万石蝶談会
金沢市大場町東871-15 松井方

<http://homepage3.nifty.com/100man/>

☎920-3121 ☎076-258-2727
郵便振替 00750-8-562
印刷 小西紙店印刷所

